



計測部(上)  
地震観測装置(左下)表示盤(右下)

## 水資源機構 琵琶湖開発総合管理所様で 明星電気の地震観測設備が運用開始！

独立行政法人水資源機構 琵琶湖開発総合管理所様の地震観測設備が、明星電気製の地震観測システム(多チャンネル地震計S240)に更新されました。この管理所は、琵琶湖開発事業により生じた琵琶湖開発施設の操作・維持または修繕などの管理を行い、治水ならびに水道用水、工業用水の供給を目的としています。今回更新した本システムは、計測部、処理部、表示盤、GPSアンテナで構成されており、地震が起きた時の最大加速度等の観測を行い、施設管理のために利用されています。ここでも、明星電気の地震観測システムが役立てられています。

(当社営業担当： 関西支店 高木 誠一 )



瓜田ダムに設置された計測震度計  
地震計データ処理部収容ラック(右上)  
地震計  
(堤体上部(左下)、堤体下部(右下))

## 瓜田ダム様で明星電気の計測震度計を更新！

有限会社岩崎電管工業様の発注により、宮崎県高岡土木事務所様の瓜田ダム地震計更新工事において、ダム堤体上部と下部に明星電気製の地震計(計測震度計S210)が更新されました。

瓜田川は宮崎県高岡町に位置し、その源を穆佐(むかさ)地の山腹に発し、山間部を北流、平地部で東流して花見橋上流で大淀川に合流します。瓜田川流域は宮崎県中部の集中豪雨地帯にあって、梅雨期、台風期には例年のごとく氾濫を繰り返し、その度に災害を及ぼしました。瓜田ダムはこのような水害を防ぐために、平成10年に治水ダムとして建設されました。

この地震計は、地震発生時にダムの安全管理に活用されており、水資源豊かな九州の河川で、明星電気の技術がダム管理・運営のために役立てられています。

瓜田ダムでは別途、水位計復調器も更新が行われています。(トピックス82号掲載)

(当社営業担当： 九州支店 田中 琢也)



当社の宇宙開発について講演する  
田口技師長

## 前橋東高校 人工衛星研習報告会 参加

2月6日、群馬県立前橋東高等学校において、2年生約230名を対象に人工衛星研習報告会が開催され、当社から技術開発本部の田口技師長が参加しました。

前橋東高校は、超小型衛星「WE WISH」の開発時から打ち上げ後の衛星電波受信まで共同研究を行っている学校です。研究チーム18名の代表生徒によるプレゼンでは、当社の見学会で「WE WISH」のエンジニアリングモデルを手にした感想や自作アンテナで受信したビーコン音声の披露があり、さらに同校理科部生徒による衛星電波受信ドキュメントの発表がありました。

最後に、田口技師長が講評と当社の宇宙開発についての講演を行い、その後の質疑応答では、「宇宙分野で独自の製品をもっと開発してほしい」「群馬にもこんなすごい会社があると実感した」などの声も聞かれ、「WE WISH」のミッションの1つが実を結んだ研習報告会となりました。

(当社報告会担当： 経営企画室)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し  
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。